

# 権限移譲で 労働条件は どう変わる? どう変える?

現在、県と市で比較すると、良かったり悪かったりのデコボコがあります。

## 休暇

県費教職員にはあるが、市職員にはない休暇

復職支援休暇、生理（特休）、赴任（特休）、看護欠勤、体育代替、補食と休息（義務免）

県費教職員はないが、市職員にはある休暇

不妊治療（特休）、厚生計画の実施（特休）、組合休暇、早出遅出勤務

★これ以外の休暇は現在どちらにもあるが、日数など内容に違いがある。

例) 育児時間・・・県は生後3年以内、市は2年以内、90分の区分も違う。

年休・私傷病休の取得単位・・・市職員は1日または15分

## 旅費

市は委託業者が旅程や宿泊施設などを最も経済的な方法で手配している。  
また、市内の移動はバス・電車のカードや公用車を使用している。

## 通勤手当額

片道通勤距離	県費教職員	市職員
2 km未満	なし	なし
2 km以上 5 km未満	2,000	3,300
5 km以上 10 km未満	5,500	5,500
10 km以上 15 km未満	9,000	9,800
15 km以上 20 km未満	12,400	13,300
20 km以上 25 km未満	15,700	16,700
25 km以上 30 km未満	19,000	20,000
30 km以上 35 km未満	22,000	23,000
75 km以上	42,800	23,000



教育研究集会・講演



バスツアー

今後は賃金・労働条件を決めていた交渉の相手が、県から市に変わります。

市労連（市職組などの労働組合の連合体）と共に交渉に臨むこととなりますが、小中学校の教職員を代表する熊本市教組には、これまで以上の結集が必要となります。

散は力。他の政令市教組のように、組織率の高いほうが何事も有利に動いていくからです。

**あなたもぜひ市教組へ 加入をお待ちしています。**

お試し制度もあります。詳しくは市教組へお尋ねください。

**熊本市教職員組合**

〒862-0976 熊本市中央区九品寺1丁目11-4

TEL 371-2711 FAX 371-8348

Eメール: sikyouso@mx7.tiki.ne.jp

2015年 冬号

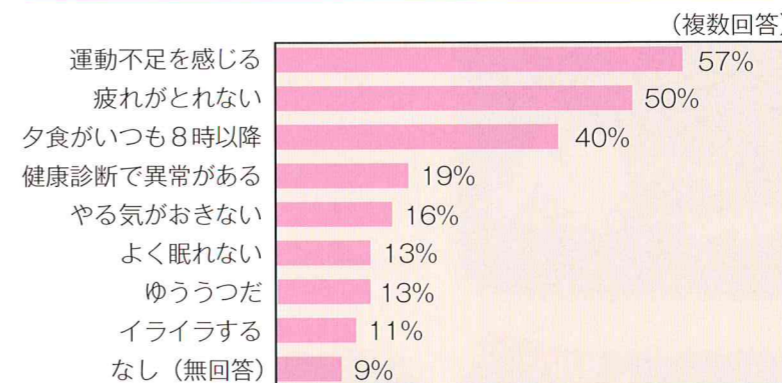
熊本市教職員組合

# みんなには 市教組です!

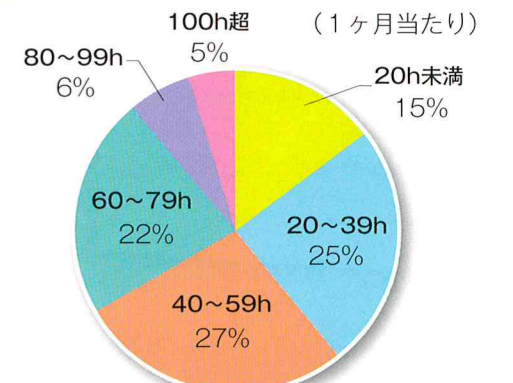
今年度も職場アンケートへのご協力ありがとうございました。市内約400人の先生方から回答いただきました。ほとんどの方が自由記述欄にも記入されていて、日頃の思いや実態を再確認することができました。

早速、市教委各課交渉を10月に実施し、改善を求めました。

## 心身の健康への不安・悩み



## 勤務時間外の在校時間



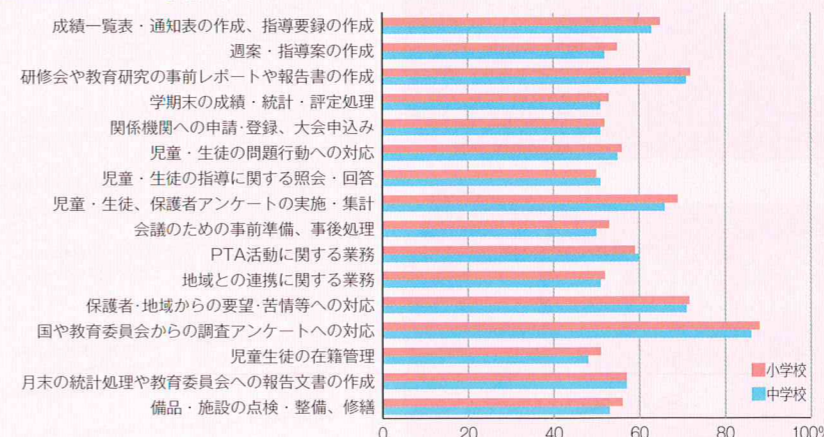
## おもなご意見

- もっと人手が欲しい。35人学級を全学年に拡大して欲しい。
- 部活動の検討は進んでいるのか。早く社会体育へ移行して欲しい。
- 駐車場有料化の意図がわからない。是非やめて欲しい。
- 学びノート教室は必要ない。教師の負担が大きい。個別指導をする時間が欲しい。



## 文科省の「学校現場における業務改善のためのガイドライン」平成27年7月

教諭の従事率が50%以上の業務に対する負担感率の状況



- ◆教職員の業務実態を調査（26年度、1万人対象）し、負担に感じている業務を把握した。
- ◆これらの改善を図るため、これまで各教育委員会が取り組んできた先進事例を整理した。
- ◆主として各教育委員会がイニシアティブをとって学校現場の業務改善に取り組み、支援するという観点からガイドラインを策定した。

※「はじめに」の記述から要約しています。

このように、より一層の取り組みが地教委に求められているのです。



# 4年目の市教委各課交渉

2012年度から始めた市教委交渉も4回目となりました。

10月15日 施設課、総合支援課、指導課、健康教育課

10月16日 学務課、教育政策課、教職員課

二日間にわたって、要求書をもとに現場の切実な声を届けて、改善を求めました。



市教委代表



施設課



総合支援課



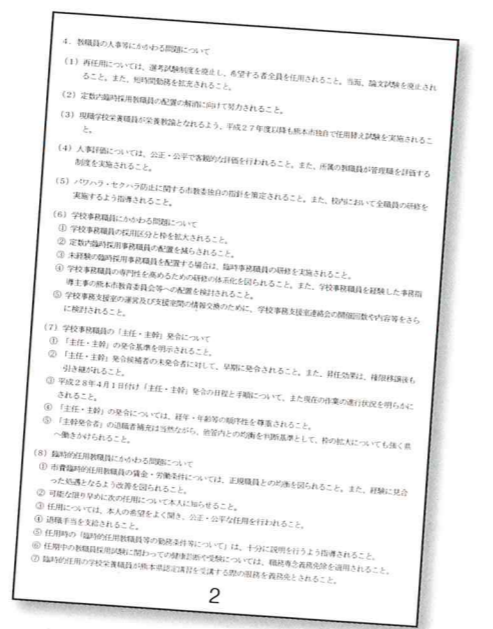
学務課



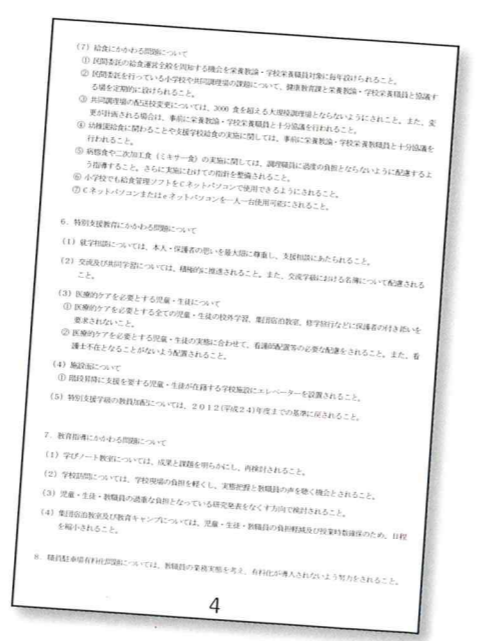
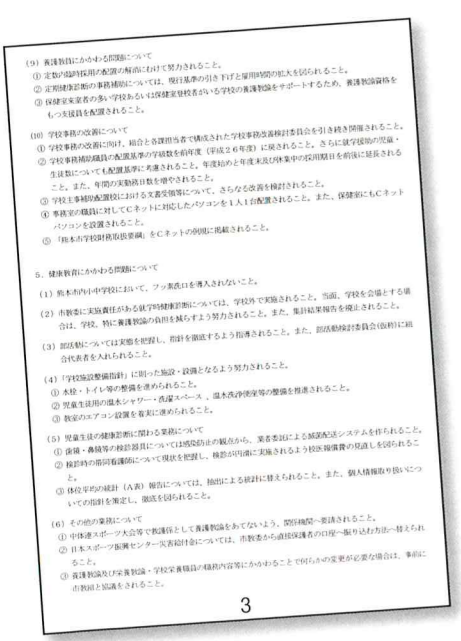
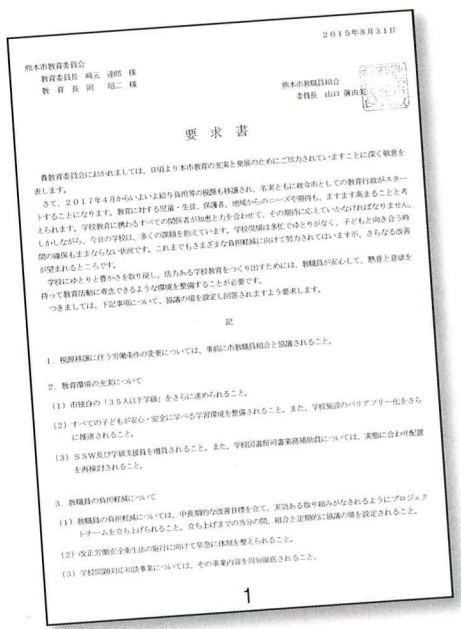
指導課



健康教育課



教職員課



## 各課のおもな回答

厳しい財政状況下でなかなか進みませんが、私たちと同じ方向性だと感じたものがいくつもありました。

課名	要求内容	回答
施設課	エアコン設置	28年度の全中学校普通教室への設置を準備中である。小学校にも設置したいが、国庫補助や予算の状況により時期を検討したい。
	エレベーター設置	昨年度は2000㎡未満の増改築でも設置。今年度は増改築以外で必要と認められる小学校2校に設置。今後もバリアフリーを推進したい。
	温水シャワー・洗濯設備・温水洗浄便座の設置	増改築時に温水シャワーと洗濯設備を保健室に、温水便座を多目的トイレ内に設置している。シャワーの要望あれば必要性を勘案して対応したい。
総合支援課	S S W ・ 学級支援員の増員	S S Wは昨年度から6名に増えた。学級支援員は増員を図っている。
	医療的ケアの看護師配置	小学校7校、中学校1校に看護師資格のある学級支援員を配置。複数在籍校で1人が校外学習に行く時などは臨時に雇用できる。
学務課	司書業務補助員	大規模校への複数配置を要望したが、認められなかった。昨年から学務課と指導課が責任をもって選任に当たっている。
	フッ化物洗口	モデル事業4年目となり6校で実施。検証のとりまとめ中。学校に丸投げは絶対に避けたい。いきなり全校で実施とはならない。
健康教育課	部活動の見直し	校長会などで指針の徹底をお願いしている。社会体育化は受け皿の問題で急には難しい。各種競技団体と協議中である。
	民間委託調理場	研修会で説明して行きたい。課題については意見交換したい。
	35人以下学級	全学年に拡大すると試算でさらに14億円が必要。29年度の権限移譲を受け、加配教員の配置も考えて行きたい。
教育政策課	負担軽減の協議・対策	検討委員に教員を加えて現場の声を聴いて検討したい。業務改善ガイドラインは活用できる事例集を作り、年度内に提供したい。
	パソコン配置	権限移譲に伴う人事管理システムの更新も視野に入れ、教職員に配置するパソコンもCネットがEネットかを検討している。
	駐車場の有料化	やむを得ないと考えているが、料金は関係部局に配慮を求めている。
	ストレスチェック制度	本年12月施行の改正労安法によるストレスチェックについては、市長部局と一緒にできないか検討している。
指導課	学びノート教室	アンケートでは肯定意見が多いが、指導者と時間の確保が課題である。今年の夏休みに大学生と退職校長を活用した学校がある。
	学校訪問	現場の実態把握と教職員の声を聴く機会としたい。
	研究発表	発表校の負担を軽くし、授業に重きを置くようにした。研究紀要は義務付けていない。開始時刻は13:10以降にした。
教職員課	集団宿泊教室・キャンプ	今年度から土日実施をなくすため、菊池と豊野も利用している。
	再任用の選考	今年度は従来通り。権限移譲後は全員任用に向けて考えたい。
	セクハラ・パワハラ防止	24年に市の要綱を改正し、教職員課と教職員組合が窓口となった。今後も情報交換をしたい。昨年は教頭会でも研修を行った。

時間的な制約で、詰めきれなかったものについては、折衝・交渉に臨むことになります。